

太宰府梅サイダー完成報告会・寄附金寄贈式

福岡農業高校食品科学科梅研究班と西日本鉄道(株)が、令和発祥ともなった本市の梅を使い共同開発した「太宰府梅サイダー」が今年も完成し、その報告と売上金の一部を「太宰府Beautiful Harmonyファンドでコロナ被害支援!」へ寄附するため7月29日、両者が本市を訪れました。

今年は梅の収穫前に、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、生徒による収穫作業が危ぶまれましたが、直前に緊急事態宣言が解除。無事に収穫することができ、仕込みに間に合いました。太宰府梅サイダーは、太宰府天満宮参道の一部店舗や市役所売店などで販売しています。



福岡農業高校梅研究班の皆さん

民間企業との連携

九州電力(株)と人事交流を実施

九州電力(株)の東谷正文さんが7月1日、太宰府市の幹部職員として2年間の予定で赴任し、本市職員が同社へ出向する念願の人事交流が実現しました。東谷さんには、民間のノウハウを生かし太宰府市での斬新なプロジェクトを推進してもらいます。



東谷正文観光経済部理事

複数の民間企業・自治体と協定締結合意

7月20日、九州電力(株)をはじめとする民間企業と、本市を含めた複数の自治体が九州観光促進コンソーシアムの協定を締結しました。同事業は、九州本来の魅力にフォーカスし、旅程や体験、特産品を開発するなど、地域活性化を図るプロジェクトです。



協定締結の様子

大学との連携

キャンパスネットワーク総会・懇談会実施

7月22日、本市と太宰府市内5つの大学・短期大学で構成する「太宰府キャンパスネットワーク会議」の総会と懇談会が行われました。新型コロナウイルスの脅威が続く中、大学・短大が置かれている状況、課題に加え、Withコロナ時代の新たな教育の在り方や自治体との連携などについて語り合いました。



懇談会

九州情報大学「だざいふなび」検証発表会

九州情報大学(太宰府市宰府)で7月21日、同経営情報学部の学生による「『だざいふなび』観光ルート検証発表会」が行われました。太宰府市商工会の観光情報サイト「だざいふなび」が推奨する観光ルートについて留学生や観光客の視点なども含めて検証し、改善点について積極的な意見交換を行いました。



九州情報大学の学生による発表

団体からの寄付

筑紫地区建設コンサルタンツ協会から遊具寄贈

一般社団法人筑紫地区建設コンサルタンツ協会から7月22日、子どもの柔軟性やバランス感覚の発達促進に有効な子ども用トランポリンを寄贈いただきました。同協会からは毎年、車いすなど市民にとって有意義な機材を寄附していただいています。多くの子どもたちが使用できるよう、ごじょう保育所に設置します。



遊具(目録)の寄贈

太宰府ロータリークラブから体温計寄贈

7月28日、太宰府ロータリークラブから、皮膚に直接触れずに体温が測定できる非接触型体温計を寄贈いただきました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、避難所運営やイベント開催などの際に、いまや必要不可欠な大変ありがたい機材です。今後も対策を万全にすべく、大切に使用させていただきます。



体温計の寄贈

私のだざいふ

福岡大学名誉教授
太宰府市環境審議会会長
太宰府市景観・市民遺産審議会会長



あさの なおひと
浅野 直人 さん

目に美しいだけでなく、この市域に古代・中世・近世そして今までに積み重ねられてきた歴史に裏打ちされた「梅の花のかおり」、「いにしえからの鐘の音」、「風のそよぎ・川のせせらぎ・鳥のさえずり」や「まちのにぎわい・なりわい」などさまざまな要素が太宰府市の景観を創り出し、さらにそれを市民が守り育てている。

こういった思いを、平成3年に環境審議会委員としてこの市との関わりをはじめて以来、感じてまいりました。そこで、平成17年に始まった景観まちづくり懇話会や、続く太宰府の景観条例づくりの中で、この思いを活かそうとしてきました。

世の中が大きく変わろうとしている今の時期ですが、大事にすべきものは大事にしながら、社会の激変にも柔軟に対応でき、健康で心豊かな市民生活が実現されている太宰府市であり続けることができるようにと願いつつ、今年度から始まる、太宰府市の新たな環境計画や景観計画の検討にも引き続き参画させていただくことができればと願っております。

市政ニュース

就職氷河期世代採用職員が入庁

就職氷河期世代採用の職員7人(7月1日付で6人、8月1日付で1人)が本市に入庁。民間企業勤務や挫折経験を生かし、それぞれの配属先に新しい風を吹かせてくれます。本市の良い伝統は受け継ぎ、改めるべきは果敢に改める、市民本位の、変化し続ける太宰府市役所を目指していきます。



辞令交付式

本市職員が豪雨災害の被災地支援へ

豪雨による甚大な被害が発生している大牟田市、久留米市の早期復興のために、本市職員を被災地へ派遣しました。派遣職員は、現地において被災住宅などの被害調査を担当します。

出発式では、派遣職員が「被災地の復興に役に立てるように頑張ります」との思いを述べました。



出発式

Contents

目次
2020年9月1日号

特集

- 私のだざいふ、市政ニュース……2
- まちのトピックス……3
- 7月臨時議会市長冒頭あいさつ……4
- ふるさと納税返礼品事業者大商談会を開催します!……5
- わが家のハザードマップ&やることリスト……6~7
- 犬と仲良く暮らすために……8~9
- 国勢調査2020……10
- 認知症について考えてみませんか……11
- ごじょう保育所で一時保育を始めます……12
- 「まほろば号」からのお知らせ……13
- 市からのお知らせ……14~16
- 連載……17~25
- なんでも情報コーナー……26~33
- 太宰府の文化財……34

広報9月号は8月12日時点での情報を掲載しています。